

はじめに

1つの数字が多くを語る。
景気の動き、経済・産業構造の動向、
生産の水準、消費の動きなどなど、
私達を取り巻くさまざまな環境の変化について、
多くの言葉で語るより、
1つの数字で示した方が、
より正確で説得的な場合が多いようです。
国が政策を立案したり、実施するときには、
各種の必要な統計データを活用する、
企業が事業を行う場合、
いろいろな統計データを利用し、戦略を練る、
学校の授業において、
日本や外国の基礎的な統計数値を勉強する…。
非常に雄弁なデータほど
いろいろな場面に引っ張り出されます。
しかし、私達は、それらの数字について、
どのように作られているのか、
また、どういうふうに見るのが正しいのか、
さらには、そもそも統計があることを知っているのかなど、
改めて考えてみると、いくつかの疑問や反省が
生まれてくるのではないのでしょうか。
統計というものは、
決してとっつきにくいものではありません。
本書を読んでいただければ、
楽しみながら通産統計のエッセンスを
理解していただけることと思います。
本書が、皆様の通産統計に対する
理解の一助になれば幸いに存じます。